

時代に合わせた暮らしやすさを

障害者支援施設・紡

個室化への転換を中心とした大規模修繕工事を実施

障害者支援施設 紡は、平成3年に高齢化対応施設として、定員79名の障害者支援施設 和として開設しました。令和2年には、利用者様の更なる状況の変化に対応することを目的に、和から分割して定員40名として現在に至っています。人生の円熟期を迎えた高齢の方々に、誇りと尊厳を大切にしたい暮らしの場と、安らぎの場を提供することをテーマに、日々潤いのある豊かな生活を送っていただいています。

しかしながら、開設から30年を経過した今、当時は先進的であったユニットケア

を軸とした居住環境は、さまざまな部分に工夫を凝らす必要が生まれ、利用者様に豊かな暮らしを提供することが難しくなっていました。特に、2〜3名がともに暮らす居室環境は、プライバシーや、新型コロナウイルス感染症をはじめ感染症予防の面からも早急に改善することが必要な状況でした。

こうした状況の中、令和3年度に京都府から補助金の助成を受け、個室化への転換を中心とした大規模修繕工事を実施することとなりました。この事業では、居室の間仕切りを撤廃し、新

しく個室に整備することとなります。そのため、いまの建物だけでは部屋数が減少してしまうため、2つの棟を増築して工事前とほぼ同様の37室を確保し、利用者様には引き続きご入居いただいています。

新しい居室は、一人ひとりの空間が広がり、今まで以上に豊かな生活を提供できる環境となっています。利用者様に、いつまでも潤いのある暮らしを続けていただくこと。それが、私たちの願いです。そのためには、私たちが日々研鑽することが必要と考えています。法人理念に沿った支援を展開していくため、これからも利用者様一人ひとりに寄り添っていきたくと思っています。



編集後記

今号からサムシングニューをリニューアルしました。リニューアルということで、「新」をテーマに編集スタッフの声をお届けします。

「新」ということに、何を期待するだろうか。はじまる。もう一度。ふたたび。いろいろ浮かんでくる。少し考えてみる。「新」は「旧」があるから生まれるのかも知れない。だから、その先、という言葉がしっくりきそう。サムシングニューのその先。いまからワクワクします。(S)

「新たな何か」「ドキドキワクワクしますね。その高揚感と共に、「自分にとっては新しくても、ある人にとっては当たり前にあるものかもしれない」という考え方を大事にしたなど「ごろから思っています。(S)

記念すべき「ニュー」サムシングニューの編集に携われて嬉しいです。自分も新しいことに挑戦しよう、狩猟免許取得のために勉強中です。地域の農作物被害を防止する意義もありますが、やっぱりジビエが楽しみです(笑)(Y)

新しいことに想いを巡らせていると、自分の中で一番新しいのは、今この瞬間だと改めてしみじみ思いました。未来はわからないし、過去には戻れない。だから昨日でも明日でも今を大切にしたい。素敵な明日につなげるために今を大切にしたい。(Y)

特集
子育てを考える

サムシングニュー

Something New

2021 December 47





生きる力・関わる力・創造する力を伸ばす子育て。

子どもが、まんなか。

子どもが、まんなか。私たちが考える保育の理念です。

この想いは、子どもの権利条約では「子どもにとって一番よいことを実現しよう」と表現されます。子どもがまんなかで、子どもにとって一番良いことを追求すること。あたりまえのようで、あたりまえでないのが、いまの社会です。その社会で、生きぬく力を養うことが、いま求められていることではないかと考えています。

経験を、生きる力に。

生きる力は、どのように育まれるので

異年齢保育で、関わる力を育む。

生きるためには、人と関わる力も大切になってきます。人と人が関わることから、人を思いやる心が養われていきます。その人と人との関わりを自然とつくっていききたい。それが、私たちが

しょうか。生きるということは、経験の連続であると私たちは考えています。子どもは、日々、さまざまな刺激を受けます。その刺激が経験となり、経験をすることで成長し発達していきます。だから、なんでもチャレンジしてほしいと思っています。もしかしたら、思いどおりではないことにつながることもあるでしょう。また、ちょっと危なっかしいことにもなるかもしれませんが。けれど、その経験は、必ず子どもたちの成長・発達につながっていきます。それが、生きるという力を養うことだと思えます。私たちは、子どもたちの「やりたいこと」や「知りたいたいこと」から日々のプログラムをつくり、子どもたちの経験から、生きる力を育んでいきたいと考えています。

想像力を、創造する力へ。

目指す異年齢保育です。2歳の子どもが、5歳の子どもと交わることで、新たな関係が生まれます。2歳の子どもは、おにいちゃん、おねえちゃんと同じことをしたいと思いい、また、5歳の子どもは、真似してくる、おとうと、いもうとを愛おしく感じるでしょう。この関係こそが、関わる力となっていくと考えています。

子どもたちの思考は、無限に広がっていきます。ひとつの経験は、ふたつの興味につながり、ふたつの興味は、みつつの想像へと発展していきます。その想像をカタチとして創造させるために、いま興味をもったことにじっくり取り組むことができる環境をつくっています。その時子どもが感じた想いと、一人ひとりの気持ちが出た瞬間を大切に、とことん取り組んでいく。その中から、子どもたちの豊かな感性・表現力・新たに生み出す力を磨き、創造する力を養っていききたいと考えています。

地域で育てる環境づくりを。

「生きる力」「関わる力」「創造する力」を育むことが、私たちが目指す保育・教育です。その目的に向けて、「あのね」を聞ける、「いつも笑顔でいる」「遊びを成長につなげる」「保護者様と見守る」という4つの方針で教育・保育を実践していきます。

多様化する社会において、ひとりの子どもを育てていくには、家庭や子ども園だけでは困難になってきています。子育ての社会化という言葉に代表されるように、地域全体で子どもを育てていく環境をつくっていくことが求められています。私たちは、経営することでも園や保育園を中心として、地域のみなさんとともに、「生きる力」「関わる力」「創造する力」を育んでいききたいと考えています。



特集

子育てを考える

時代とともに価値観が多様になり、家族や地域のありかたが変わりました。子育てや教育においても、抜本的に見直す時期がきているように思います。一方で、子どもたちの幸せを願う大人たちの気持ちは、いつの時代も変わることはありません。今回は「社会の中で生きぬく力を養うこと」をめざす、私たちの教育・保育の取り組みをご紹介します。

教育・保育の目線 (園での気づき)

園では、子どもたちの「やってみたい」気持ちを最も大切にしています。自ら考え、想いを伝えあう時間を見守ることで、社会で生きる・人と関わる・何かを生み出すことの大切さを学びます。

音探し

子どもたちは、遊びの中からさまざまなことを発見し、試していくことにより自分で考える力を身につけていきます。たとえば、音探し。これは手に持ったおもちゃでいろいろなところを打ち鳴らし、音の違いを知っていく遊びです。机の脚は高い音、イスは机より鈍い音、箱はパンパン大きい音。と、一つひとつを実験し、遊びながらいろいろと考えることで**主体的な思考力**が芽生えます。



うどんづくり

「小麦粉粘土がしたい」という子どもの声から、うどんづくりが始まりました。動画を観ながら「手でこねているよ!」「テーブルの上でこねているよ!」「棒がいるかも!」といった会話が生まれ、互いに確かめあうことでうどんづくりが進んでいきます。また、生地が手につくのは「水が多いから」ということもわかりました。言葉で伝えたり、水の分量を理解することで**豊かな感性や表現力**を育みます。

みて!こんな模様になったよ

2歳児がポンドと絵の具の感触遊びをしていると、ほかの子どもたちも「やりたい」と言って集まってきました。好きな色とポンドを混ぜながら「これどうなるの?」「ぐるぐるになったよ」「今度は黄色とみず色も入れてみる!」と色の変化にわくわく。「私がつくったのはこんなものになったよ!」とお友だちに喜びを共有するなど、自分から関わりあえる環境の中で**コミュニケーション力**を磨きます。



はじめは泣いてしまっても...

朝は保護者と離れるのが寂しくて泣いてしまうことが多く、心配や不安を抱えてお仕事に向かわれるかもしれません。けれど、子どもたちは少しずつ慣れていき、あちこちで探索遊びを始めます。一緒に過ごすお友だちのことにも興味津々で、何をしているのか気になり近づいてみたり、同じことをしてみたり。日々の環境に柔軟に適応しながら、**協同性**を身につけていきます。

南山城学園の教育・保育の取り組み

一人ひとりの子どもの成長に合わせた保育をする。その想いから、決められたプログラムを時間内にみんなで行う一斉保育ではなく、それぞれの気持ちに寄り添う個別保育を行い、「生きる力」「関わる力」「創造する力」を育むことのできるプログラムを実践しています。

思いやる心を育てる

[異年齢保育]

0歳~5歳まで、年齢のちがう子どもたちが一緒に学びます。年下の子を思いやる心や、年上の子を真似する向上心などが芽生えます。



主体性を育てる

[プロジェクト保育]

自分の「やってみたい」ことを話し合い、その日の遊びを決めていきます。主体的に考え、気持ちを伝え、相手の意見を聞く力を育みます。



子どもの成長に気づく

[ドキュメンテーション]

日々のできごとを見える化し、保育者・子ども・保護者様と共有します。振り返り、学びを深めるとともに、保護者様に私たちの保育観を伝えます。



自立心を育てる

[目的別保育室]

「食事をする」「体を動かす」など、目的ごとにエリアをわけた保育環境にしています。自分の生活リズムを組み立て、行動する力を身につけます。



地域で子どもを育てる

「休日保育」「発達・療育相談」「歯科講座」「絵本カフェ」「コンディショニング運動」「収穫イベント」など、地域に向けた子育て支援を行っています。また、病児保育などの特別保育を実施し、地域のニーズに応えています。



新規採用職員紹介

2021年度は28名の
フレッシュな職員が入職しました



山岡 紗希子
障害者支援施設 円

他の人より進むのはすぐゆっくりかもしませんが、目標に向かって少しずつ進んでいくことができるから。



所 里紗
障害者支援施設 円

こつこつ「マメ(豆)」に努力を重ね、大福もちのような包み込み感を持ちつつ進みます。一つひとつ手作りする丁寧さで、日々の業務に取り組んでいきたいです。



須崎 叶佳
障害者支援施設 円

進んでは一度戻り、また進んで...と時間はかかりますが、その分、丈夫で安心できるものをご提供できるよう歩んでいきます。



米村 里菜子
障害者支援施設 和

人見知りですが、殻を破って利用者様一人ひとりに合わせた柔軟な支援ができるよう頑張ります。



島本 佳苗
障害者支援施設 和

柔らかさに見えますが、中身は芯のある人間です。



上田 茉侖
障害者支援施設 和

イルカのように、どんな人とも仲良くなれるという社交性を武器に、これからも成長していきたいです。



山崎 汐里
障害者支援施設 紡

炒めても、焼いても、揚げてもおいしい。どんな場面でも臨機応変に対応します。



丸山 紘加
障害者支援施設 紡

「一緒にいると癒される」と言われたことがあるから。利用者様に対しては、優しく接する、心温まる職員でありたいです。



城戸 唯佳
障害者支援施設 翼

定規のようにまっすぐ正確に、何事にも真面目に取り組めます。



上野 わかな
障害者支援施設 翼

よく「落ち着きがある」と言われるから。ゆったりと構えて寄り添える支援を目指します!!



石原 和弥
障害者支援施設 翼

微力でも、根気強くコツコツと物事に取り組むことが得意です。



西村 彩華
障害者支援施設 魁

ペースはゆっくりかもしれませんが、コツコツ頑張ります!!



浦野 羽葉
障害者支援施設 魁

ほんわかしていますが、どんな所でも生きていける力があります。ラクダのように向上心を常に持って頑張ります。



中野 史佳
障害者支援施設 光

何でも受け止めて、穏やかに生きていますが、時にやけ食いすることがあります。



中島 彩花
障害者支援施設 光

クラゲのようにやわらかい雰囲気です。たくさんの方を癒やすことのできる存在になりたいから。



上村 遼
障害者支援施設 光

無色透明で、様々な色に染まることができず。



武内 里佳子
障害者支援施設 凜

プロコリがたくさんの蕾をつけているように、仕事に関わることから趣味に関わるまで、もっと深く花を咲かせたいと思う関心事がたくさんあるから。



愛波 秀敏
障害者支援施設 凜

動きはゆっくりですが、着実に前に進んでいくために、仕事に関わることから趣味に関わるまで、自分ができることの最善を尽くします。



作田 愛奈
介護老人保健施設 煌

動かさずじっとしていることで有名ですが、お辞儀で愛情を表現する鳥、礼儀ある愛や温かい心を持ち、冷静な気持ちと判断で頑張ります。



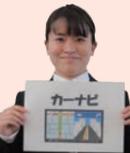
加茂 晴奈
介護老人保健施設 煌

たくさんの方の知識と技術を詰め込んで、たくさんの方に「福祉」を発信していきます!!



松浦 波香
グループホーム支援室

いつも上を向いて、ひまわりのような笑顔で利用者様を癒します!



井上 明香里
障害者支援施設 輝

見通しを立てて行動したり、新しい選択肢を考えたりすることが好きだから。



駒走 圭紀
障害者支援施設 輝

少しマイペースな部分はありますが、温厚で友達思いだから。



森 美和
もりの詩保育園

最初から器用は何でもできませんが、時計が一秒ずつ正確に刻むように、一歩ずつ丁寧に物事に取り組むことが好きだから。



千賀 みなみ
もりの詩保育園

目立たないけれど、見つけたとき温かい気持ちになるたんぼのように、私も周りの人にそのような気持ちになってほしいから。



岸本 涼
もりの詩保育園

洗濯機のように、スイッチを入れるとたくさん動けるようになるように、うるさくったり、涙もろくなったりするので、たくさんのお話を共有したいです。



森村 聖奈
介護老人保健施設 煌

包容力と笑顔をもって、皆様に癒しを与えます!ウーパールーパーのように唯一無二の存在を目指します。



西田 瞳
介護老人保健施設 煌

どんな人にもびったり寄り添い、サポート役に活躍したいです。

認定こども園「ゆいの詩」新規開園



子どもたちと地域とで
一緒につくっていく園を



2022年4月のオープンに向けて、開設準備を進めています。

名称の「ゆい(結)」は「つながり」。異年齢保育とプロジェクト保育で子どもの主体性を育む教育・保育を実践し、園と地域が互いにつながりあい、育ちあうことを大切にします。

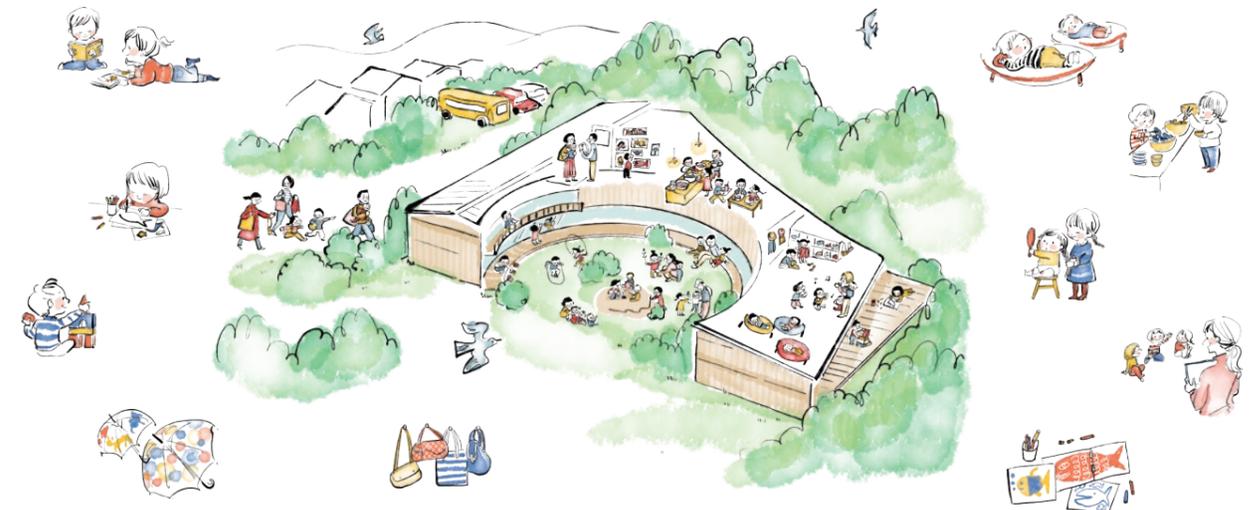
すべては輪となって未来に向かってつながっていくイメージです。

建築工事については、2021年6月1日に着工、2022年1月31日完成予定で、順調に進捗しています。定員150名で、病児保育室、未就学の障害児を対象とした児童発達支援事業所を併設します。

開設準備プロジェクトチームでは、法人の教育・保育の方針、目的、特色をさらにブラッシュアップし

ていけるよう、活発な議論が交わされています。「乳児と保育者との愛着関係をはぐくむ」、「異年齢保育で子ども同士が互いに育ちあう関係を」、「目的別保育室により、子どもたちの主体性を大切に」、「地域のご高齢の方々との交流を」、「園庭に必要なものは子どもたちに合わせて」などなど、新たな園で取り組みたい事は尽きることがありません。子どもたちの総合的な人間力を伸ばし、個性豊かな人間に育つよう丁寧な教育保育を実践してまいります。

“子どもたちと地域とで一緒につくっていく園”を軸に、既存の教育・保育の枠を超えて、「認定こども園 ゆいの詩」が地域の子育て支援ニーズにしっかりと応えできるよう、全力を尽くしていきます。(ゆいの詩保育園 開設準備プロジェクトチーム一同)



2022 April
NEW OPEN

2022年4月大阪府JR島本駅前にオープン
オープニングスタッフ募集しています

2022年4月に大阪のJR島本駅前に定員150名の「認定こども園 ゆいの詩」を開園することが決定しました。新しく開園することも園で、働くスタッフ(看護師および保育パート)を募集します。「こどもが、まんなか」を理念とする新しい園で一緒に働きませんか。詳しくはWebをご確認ください。

